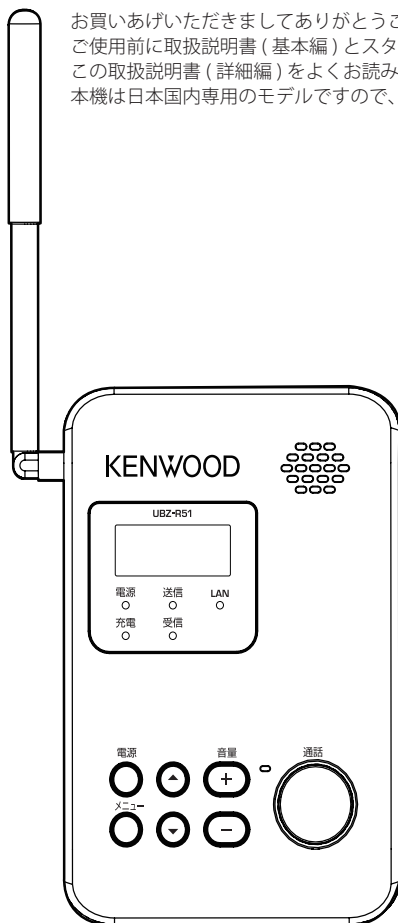


UBZ-R51

特定小電力中継器

取扱説明書（詳細編）

お買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書（基本編）とスタートアップガイドおよび
この取扱説明書（詳細編）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

目次

各部の名称と機能.....	3
前面／側面.....	3
背面.....	3
バッテリーパック（別売品）について.....	6
バッテリーパック（別売品）を取り付ける.....	6
バッテリー保護機能について.....	7
設置のしかた.....	8
落下防止ストラップの本機への取り付け.....	8
AC アダプター（DC プラグ）の接続.....	8
LAN ケーブルの接続.....	9
設置場所について.....	10
壁掛けブラケットの設置.....	10
壁掛けブラケットへの取り付け.....	11
アンテナの調整.....	11
AC アダプターを接続.....	12
オプション（別売品）の接続.....	12
設定のしかた.....	13
電源を ON にする.....	13
チャンネル番号とグループ番号を設定する.....	13
ボイススクランブル（秘話）の設定.....	14
キーロック.....	14
パワーオンメニューについて.....	14
運用モードについて.....	20
操作のしかた.....	23
基地 SP モード（シンプレックス）での通信操作.....	23
基地 SD モード（セミデュプレックス）での通信操作.....	24
オートチャンネルセレクト.....	24
モニター.....	25
コールトーン呼び出し.....	25
グループ番号不一致通知.....	25
パソコンからの設定のしかた.....	26
本機をパソコンと接続して、Web Tool にログインする（初回設定）.....	26
Web Tool 画面の見かた.....	27
Web Tool から設定する.....	28
その他の機能.....	32
通話時間終了の予告機能.....	32
警告音について.....	32
初期設定の状態に戻す（オールリセット）.....	32
オプション一覧.....	33
故障かな？と思ったら.....	34
仕様.....	36

説明上の注釈表記について



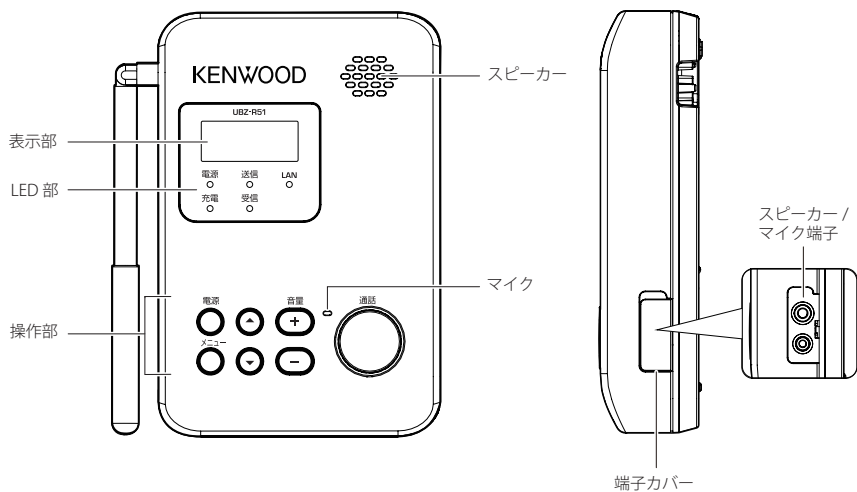
このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



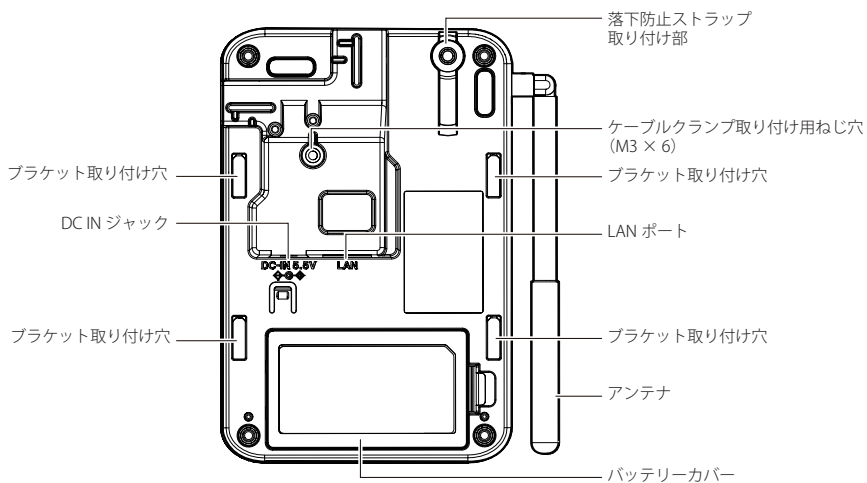
このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

各部の名称と機能

前面／側面

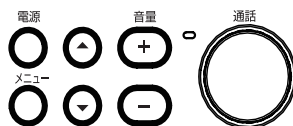


背面



- ケーブルランプは付属していませんのでご利用の際は市販品をご準備ください。

操作部



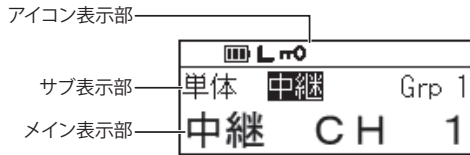
キーの名称	通常の動作
【電源】	・ 電源の ON / OFF (0.5 秒以上押す)
【メニュー】	・ グループ番号、ボイススクランブルの設定 (→ 13 ページ、14 ページ) ・ キーロックの ON / OFF (1 秒以上押す)
【▲】	・ チャンネル UP (1 秒以上押すと早送り)
【▼】	・ チャンネル DOWN (1 秒以上押すと早送り)
【音量+】	・ 音量を上げる (1 秒以上押すと連続で音量を上げる)
【音量-】	・ 音量を下げる (1 秒以上押すと連続で音量を下げる)
【通話】	・ 押している間、通話ができます。

LED 部



LED の名称	通常の動作
電源 LED	・ 外部 DC 電源使用時：橙点灯 ・ バックアップ電源使用時：赤点灯
充電 LED	・ 充電時：赤点灯 ・ 充電完了時：消灯 ・ 異常時：赤点滅 ※別売品のバッテリーパック使用時に点灯します。バッテリーパック未使用時、充電 LED は消灯します。
送信 LED	・ 送信時：赤点灯 ・ バッテリー充電機能停止時：赤点滅
受信 LED	・ 受信時：緑点灯 (グループ番号不一致時は緑点滅) ・ バッテリー交換警告時：緑点滅
LAN LED	・ リンク未確立時：消灯 ・ リンク確立中：緑点灯 ・ データ通信中：緑点滅

表示部



表示エリア	説明
アイコン表示部	・設定された機能の動作をアイコンで表示
サブ表示部	・運用モードやグループ番号、設定値などを表示
メイン表示部	・チャンネル番号や項目名などを表示

表示されるアイコン

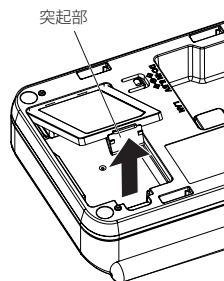
表示	説明
	・バッテリー残量を3段階で表示
	・ボイススクランブル（秘話）使用時に表示
	・ローパワー送信に設定されているときに表示
	・受信信号のモニター時に表示
	・キーロックがONに設定されているときに表示
	・オートチャンネルセレクトを使用中に表示

バッテリーパック（別売品）について

バッテリーパック（別売品）を取り付ける

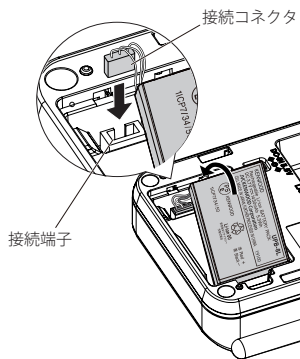
1 バッテリーカバーを取り外す

バッテリーカバーの突起部に指をかけ、引きながら矢印の方にカバーを持ち上げて取り外します。



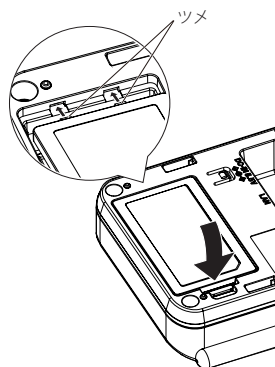
2 バッテリーパックを取り付ける

本機の接続端子とバッテリーパックの接続コネクタを接続し、バッテリーパックの機種名 (UPB-8L) が記載されているラベル面を表にして矢印の方向に取り付けます。



3 バッテリーカバーを取り付ける

バッテリーカバー左側のツメを本機の溝に合わせて取り付け、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



バッテリー保護機能について

本機にバッテリーパックが挿入されてから長期間経過すると、劣化による液漏れなどの可能性があるため、警告音によりバッテリーパックの交換をお知らせします。

バッテリーパックが挿入されてから2年経過した場合、受信 LED が点滅します。運用モードを「単中継」/「LAN SD」/「LAN SP」モードに設定している場合は、中継中の音声に「バッテリー交換警告音」が付加されます。この状態からさらに2週間が経過すると、送信 LED が点滅し充電が停止されます。運用モードを「単中継」/「LAN SD」/「LAN SP」モードに設定している場合は「バッテリー充電停止音」が送信されます。(→ 32 ページ)

早めにバッテリーを交換してください。

バッテリーパック交換後の設定について

別売品のリチウムイオンバッテリー (UPB-8L) を交換したときは、下記の操作をおこなって「バッテリー保護機能」をリセットしてください。

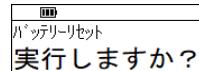
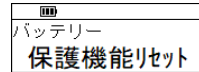
1 電源を OFF にする

2 【メニュー】と【▲】と【▼】を同時に押しながら電源を ON にする

「バッテリー 保護機能リセット」と表示された後に、

「バッテリーリセット 実行しますか?」と表示されます。

リセットを止めたいときは、【通話】以外のキーを押すと、チャンネル表示画面が表示されます。



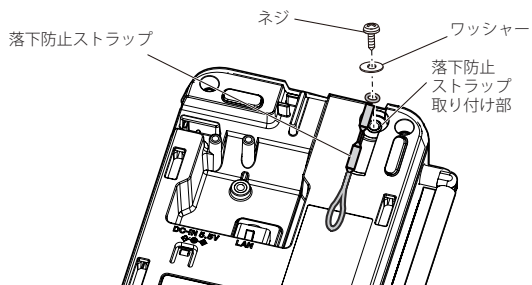
3 【通話】を押す

バッテリー保護機能のリセットが実行されます。

設置のしかた

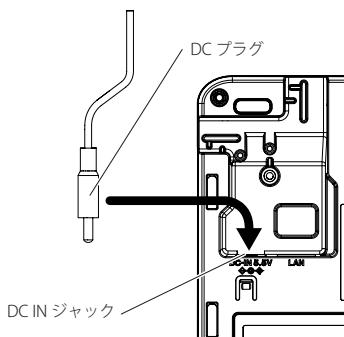
落下防止ストラップの本機への取り付け

- 1 落下防止ストラップを本機背面の落下防止ストラップ取り付け部に付属のネジとワッシャーで取り付ける

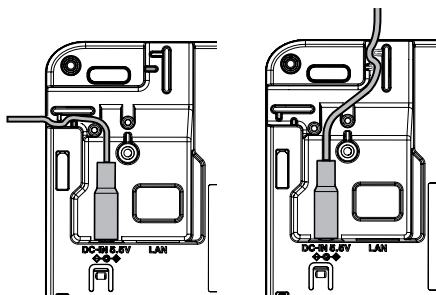


AC アダプター (DC プラグ) の接続

- 1 AC アダプターの DC プラグを本機背面の DC IN ジャックに接続する



- 2 DC プラグのケーブルを左部または上部の溝にはめ込んで固定する



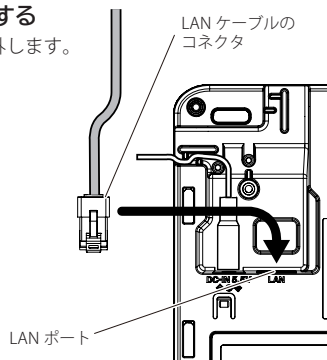
LAN ケーブルの接続

使用する場所が壁やフロアなどをはさんで電波が届きにくい場合に、複数台 (最大 6 台まで) のレピーターを LAN ネットワーク内で接続して利用できます。運用モードを「LAN SP」または「LAN SD」モードに設定して使用します。(→ 20 ページ)

LAN ケーブルはシールド付きカテゴリ 5e 以上で 100 m 以内のストレートケーブルを使用してください。

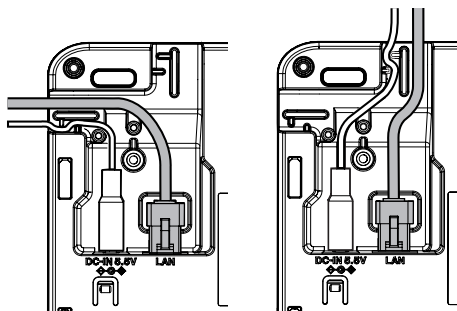
1 LAN ケーブルのコネクタを本機の LAN ポートに接続する

LAN ポートに保護キャップが取り付けられている場合は、取り外します。



- 本機の LAN ポートとルーターなどを LAN ケーブルで接続してインターネットにアクセスすることは法令上できません。LAN ケーブルでの接続はローカルネットワーク内のみとしてください。

2 LAN ケーブルを左部または上部の溝にはめ込んで固定する



設置場所について

本機は防水仕様ではありません。取り付けは屋内の雨や水滴のかからない場所で、周囲の壁や金属性の物から離してください。また、壁掛けブラケットおよび本機は縦にして取り付けてください。

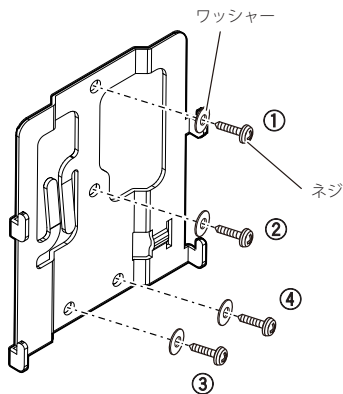


- 本機は安定した丈夫な壁や柱に取り付けてください。
手で押すとへこんでしまう壁には取り付けないでください。石膏ボードや薄いベニヤ板などは、取り付け用のネジがゆるんで壁掛けブラケットおよび本機が落下する恐れがあります。
- 見通しのよい場所に取り付けてください。
壁などの障害物があると電波が弱められ、通信距離が短くなる場合があります。本機を使用する場所が見渡せる場所に設置します。
- 使用範囲の中心にくるように取り付けてください。
ご使用になる特定小電力トランシーバーの移動範囲のほぼ中間の距離に設置してください。
- 電波に影響を与えるものは避けてください。
スチール製品、電子レンジ、無線を使用するコンピュータ周辺機器などの近くには設置しないでください。正常に通信できない場合があります。
- 壁面や壁に設置せず、台などに横向きに置いた状態でも使用できます。
平らな場所に置くなどして、落下に注意して使用してください。

壁掛けブラケットの設置

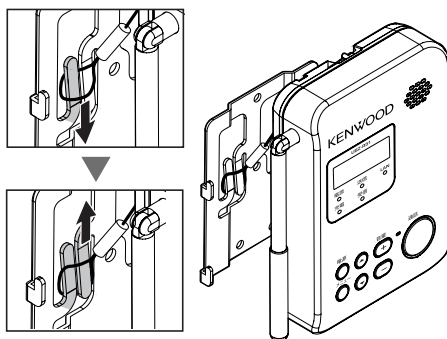
1 壁掛けブラケットを壁面の設置したい箇所に押し当て、付属のネジとワッシャーで止める (4カ所)

壁掛けブラケットの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。

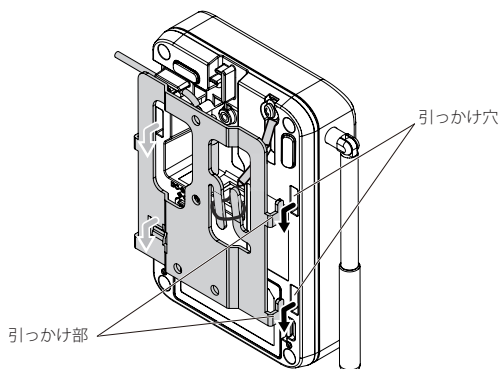


壁掛けブラケットへの取り付け

- 1 落下防止ストラップの輪の部分、壁掛けブラケットのストラップ引っ掛け部に取り付ける
ストラップの引っ掛け部の左側に上から輪の部分にくぐらせ、ストラップ引っ掛け部の右側にも輪にくぐらせて固定します。

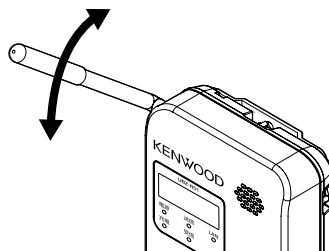


- 2 壁掛けブラケットの引っ掛け部分を本機背面の引っ掛け穴に差し込み取り付ける



アンテナの調整

- 1 アンテナを壁や金属性の物から離れるように位置を決める

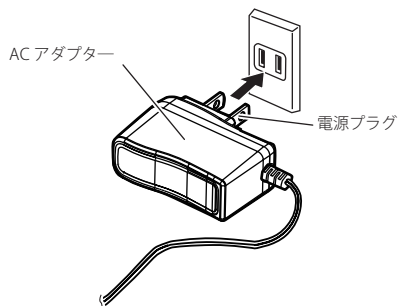


AC アダプターを接続



- ACアダプターのコード処理にご注意ください。
コードに足を引っかけたりすると、本機の落下・破損の原因となります。コードに無理な力が加わる設置は避けてください。
- ACアダプターは専用の付属品を使用してください。
専用の付属品以外のものを使用した場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。

1 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む



オプション（別売品）の接続

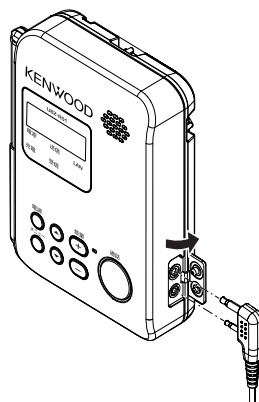


- 断線防止のため、オプションを取り外すときは、プラグを持って取り外してください。
- リモコン対応マイクロホンを使用する場合は、「リモコン設定」(→ 19 ページ)をONに設定してください。OFFに設定されている場合、リモコン対応マイクロホンを中継器に接続しても、リモコンキーは動作しません。

1 本機の電源を OFF にする

電源を入れたままオプションを接続すると、エラー表示（誤検知）や故障の原因となります。必ず電源を切って接続してください。

2 端子カバーを開き、オプションのプラグをスピーカー / マイク端子に接続する



3 本機の電源を ON にする

電源を ON にする

1 【電源】を長く押す

起動音が鳴り本機の電源が入り、起動すると電源 LED が点灯します。
もう一度【電源】を長く押すと、電源 LED が消灯して電源が切れます。



チャンネル番号とグループ番号を設定する

特定小電力トランシーバーのチャンネル番号とグループ番号は、本機の設定と同じにしてください。設定が終了したら本機とトランシーバーで動作確認をしておいてください。

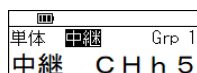
チャンネル番号の設定

1 【▲】または【▼】を押す

押すごとにチャンネル番号が切り替わります。
運用モードや設定により使用できるチャンネル数やチャンネル表示が異なります。使用可能チャンネルについては「仕様」(→ 36 ページ)を参照してください。



例：3 チャンネルに合わせた場合



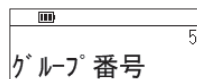
例：h5 チャンネルに合わせた場合

グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、混信がなく快適な通話ができます。

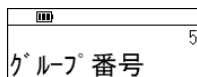
1 【メニュー】を押す

グループ番号設定モードになります。



2 【▲】または【▼】を押す

押すごとにグループ番号が切り替わります。設定範囲は OFF、1 ~ 38 になります。



3 【メニュー】を押す

グループ番号が設定され、チャンネル番号表示に戻ります。
10 秒間何も操作しないと、現在表示しているグループ番号が設定されて、チャンネル番号表示に戻ります。



例：3 チャンネル、グループ 10 に合わせた場合



- 【▲】または【▼】を 1 秒以上押すと、押し続けている間チャンネル番号またはグループ番号が早送りされます。
- 「LAN SP」および「LAN SD」モードで複数台の中継器を接続する場合は、それぞれの中継器のチャンネル番号とグループ番号は、異なるチャンネル番号とグループ番号を設定してください。同じ設定の場合は通話できません。

ボイススクランブル（秘話）の設定

グループ番号を設定するとボイススクランブル機能を使用できます。他人に通信内容を知られたくないときに設定します。ボイススクランブル機能を「ON」にすると、他のグループの人が同じグループ番号に設定しても通信内容が聞き取りにくくなります。

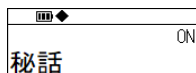
ボイススクランブル（秘話）は「基地 SP」または「基地 SD」モード時に設定できます。

1 【メニュー】を押す

グループ番号設定モードになります。

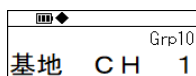
2 グループ番号を「OFF」以外に設定し、【メニュー】を押す

3 【▲】または【▼】を押して、「ON」または「OFF」を選択する



4 【メニュー】を押す

ボイススクランブル（秘話）を「ON」に設定すると「◆」表示が点灯します。




- ボイススクランブル（秘話）を「ON」にしている時に、グループ番号を「OFF」に変更すると、ボイススクランブル（秘話）も「OFF」になります。

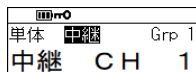
キーロック

誤ってキーに触れて、設定したチャンネル番号やグループ番号が変わってしまうことを防ぎます。

1 【メニュー】を1秒以上押す

「」表示が点灯します。キーロックが設定され、【▲】【▼】と【メニュー】の単押しは動作しなくなります。

【メニュー】を1秒以上押すとキーロックが解除されます。



パワーオンメニューについて

運用モードの設定など、いろいろな機能をメニュー形式で設定するモードです。

※キーロックがONのときは、パワーオンメニューを使用できません。キーロックをOFFにしてから操作してください。

パワーオンメニューからの設定方法

1 電源をOFFにする

2 【メニュー】を押しながら電源をONにする

パワーオンメニューになります。

3 【▲】または【▼】を押す

押すごとに、次ページの「パワーオンメニューの設定項目」の表のように設定項目が切り替わります。

4 【メニュー】を押す

設定項目が確定され、設定値が点滅します。

5 【▲】または【▼】を押す

設定値を選択します。

6 【メニュー】を押す

設定値が確定され、設定項目選択に切り替わります。

7 【通話】を押すか、【メニュー】を1秒以上押します。

パワーオンメニューが終了します。

パワーオンメニューの設定項目（「設定範囲」欄の太文字は初期値）

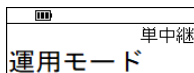
項目	内容	設定範囲
運用モード	単中継 / LAN SD / LAN SP / 基地 SP / 基地 SD の選択をします。	単中継 / LAN SD / LAN SP / 基地 SP / 基地 SD
ビーブ音設定	操作時のビーブ音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	OFF / ON
スケルチレベル	スケルチレベルのスレッシュホールドレベルを設定します。	OFF / 1 / 2 / 3
バッテリーセーブ	バッテリーセーブ機能の ON/OFF を設定します。	OFF / ON
送信出力設定	1ch ~ 18ch バンドでの送信をローパワーの約 1 mW に設定して、中継の時間制限を解除します。	ロー / ハイ
CH 番号切替	チャンネルの表示方法を設定します。	OFF / ON
レピーターアクセス	通信開始時の動作を設定します。	ノーマル / ファスト
ホールドタイム	アクセスするトランシーバーの信号がなくなっても送信を維持する時間を設定します。	OFF / 3 秒 / 5 秒 / 8 秒
バッテリー動作音	バッテリーワーニングトーンやバッテリーオペレーショントーンの送出 ON/OFF を設定します。	OFF / ON
ACS 設定 (本体オートチャンネルセレクトキー設定)	【▲】 または 【▼】 長押しでオートチャンネルセレクトを有効にするか無効にするかを設定します。	OFF / ON
通話告知音	通話開始時、終了時にビーブ音を出力し、発話開始のタイミングと通話終了の通知を知らせるかどうかを設定します。	OFF / SD / ALL
通話告知動作	通話告知音を設定時に、ビーブ音をどのタイミングで鳴らすかを設定します。 ※「通話告知音」が「OFF」の場合には、「通話告知動作」を設定していてもビーブ音は鳴りません。	開始時 / 終了時 / 両方
オプション出力	ビジー有りまたはグループ番号一致時に、スピーカー / マイク端子から約 3V の電圧を出力するかどうかを設定します。	OFF / キャリア / スケルチ / グループ
リモコン設定	オプションのリモコン対応マイクロホン接続時にリモコンキーを有効にするか無効にするかを設定します。	OFF / ON
内部マイク感度	内部マイクの感度を設定します。	通常 / 高

運用モード

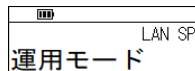
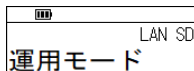
本機の動作を選択します。中継器として使用する場合は「単中継」モードで運用します。通信の距離を延ばしたい場合は「LAN SP」または「LAN SD」モードを選びます。基地局として近くのトランシーバーと通話を行いたい場合は、「基地 SP」モード、中継器と接続して他のトランシーバーと通話を行いたい場合は、「基地 SD」モードを選びます。(→ 20 ページ)

※詳しい設置方法や設定などについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

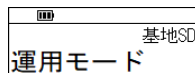
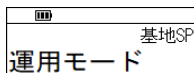
単中継モード



LAN SD モード LAN SP モード



基地 SP モード 基地 SD モード

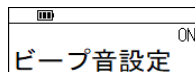
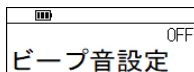


- 本機を LAN ケーブルで接続して使用する場合は、2 台とも同じ運用モード（「LAN SD」または「LAN SP」モード）に設定してください。運用モードが違っていると動作しません。

ビープ音設定

キーを操作したときに鳴る確認音をビープ音といいます。この機能を「OFF」に設定すると、ビープ音を鳴らさないようにできます。

- OFF : ビープ音は鳴りません
ON : ビープ音が鳴ります



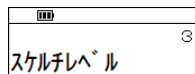
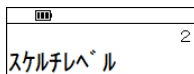
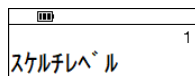
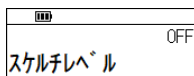
- 以下の警告音、予告音などはビープ音を「OFF」に設定しても鳴ります。
バッテリー減電圧警告音、通話時間制限予告音、送信禁止音、通話告知音、コールトーン、レピーターアクセスエラー音

スケルチレベル

スケルチ（雑音などを消去する機能）が解除される（音声が出力される）レベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音（「ザー」という雑音）が多くなります。

逆に、スケルチレベルを上げると、弱い電波は雑音として消去するため、強い電波しか受信しなくなります。

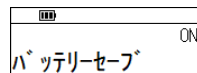
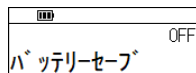
- OFF : 雑音の低減をしない
1 : 雑音多い
2 : ↓
3 : 雑音少ない



バッテリーセーブ

本機をバックアップ電源で運用しているときに、バッテリーの無駄な消費を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で、「単中継」「LAN SD」「LAN SP」モードでは約3分間、「基地 SP」または「基地 SD」モードでは約5秒間キー操作がないと、受信回路の電源 ON/OFF を繰り返します。キー操作をおこなうか、信号が入感されるとバッテリーセーブは解除されます。

- OFF : バッテリーセーブが動作しません
ON : バッテリーセーブは動作します

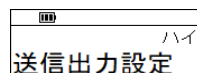
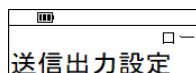


送信出力設定

中継距離に応じて送信出力を切り換えることができます。お買い上げ時の設定はハイパワー (10 mW) です。ローパワーに設定すると中継動作を3分以上連続しておこなうことができます。ローパワーのときは (L) が点灯します。

※ローパワーの設定は、「単中継」「LAN SD」「基地 SD」モードで運用時に1～18チャンネルの場合のみ有効になります。

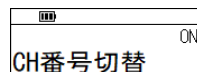
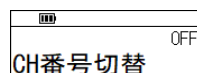
- ロー : ローパワー (1 mW)
ハイ : ハイパワー (10 mW)



チャンネル番号切替 (CH 番号切替)

チャンネル番号の表示方法を連番表示ではなく、h 番号 (h1～h9) のチャンネルが混在する従来機の表示にしたい場合に変更します。

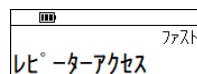
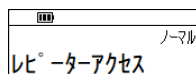
- OFF : チャンネル番号を連番で表示
単中継 / LAN SD / 基地 SD : 1～27
LAN SP / 基地 SP : 1～20
ON : 従来機の h 番号が混在するチャンネル番号で表示
単中継 / LAN SD / 基地 SD : 1～18, h1～h9
LAN SP / 基地 SP : 1～11, h1～h9



レピーターアクセス

通信開始時の動作を設定します。通信開始時の頭切れが気になるときにファストに設定します。ファストアクセスモードの使用時は、通信するトランシーバーもファストアクセスモードに設定してください。設定方法はご使用になるトランシーバーの取扱説明書をご確認ください。

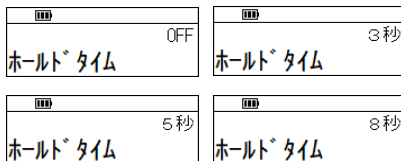
- ノーマル : ノーマルモードで通信開始
ファスト : ファストアクセスモードで通信開始



ホールドタイム

中継動作中に、トランシーバーからの信号が無くなっても、一定時間送信状態を保持する機能です。会話中に通信が途切れてしまうときは、保持時間（ホールドタイム）を設定して通信が途切れるまでの時間を延長させることができます。

- OFF : 0秒
- 3秒 : 短い
- 5秒 : ↑
- 8秒 : 長い

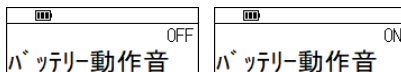


バッテリー動作音

バッテリーワーニングトーン／バッテリーオペレーショントーンの出力設定のON/OFFを切り換えます。

※ OFFに設定しても「バッテリー減電圧警告音」は送信されます。(→32ページ)

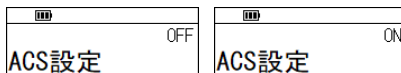
- OFF : ワーニング／オペレーショントーンともに出力しない
- ON : ワーニング／オペレーショントーンともに出力



本体オートチャンネルセレクトキー設定 (ACS 設定)

この機能を「ON」に設定し、「基地SP」モードで【▲】または【▼】を1秒以上押しとオートチャンネルセレクトが動作します。

- OFF : 【▲】または【▼】ではオートチャンネルセレクトは動作しない
- ON : 【▲】または【▼】を1秒以上押しとオートチャンネルセレクト動作



通話告知音

通話開始時、終了時またはその両方でピープ音を出力して通知を知らせることができます。

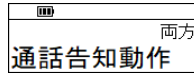
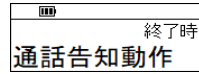
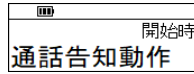
- OFF : 通話告知音を出力しない
- SD : 「基地SD」モード時に通話告知音を出力
- ALL : 「基地SP」「基地SD」モード時に通話告知音を出力



通話告知動作

通話告知音の設定で、通話開始告知音と通話終了告知音のどちらかを出力するかを設定します。

開始時 : 通話開始告知音を出力
 終了時 : 通話終了告知音を出力
 両方 : 通話開始告知音と通話終了告知音を出力

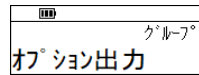
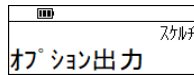
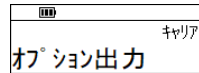
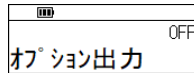


- 通話開始告知音：【通話】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者にピーブ音で知らせる機能です。通話の頭切れを防ぐために使用します。また、受信者がバッテリーセーブ機能を使用していると、受信するまでの時間がかかることがあるため、送信者が音声通話開始タイミングを調整します。
- 通話終了告知音：送信者が【通話】を離して送信を終了したことを、受信者に音で知らせる機能です。受信者は、送信者が送信を終了したことが音でわかるため、返事をするタイミングがつかみやすくなります。

オプション出力

「基地 SP」「基地 SD」モード時に、本機と外部システム機器を連動させる為、スピーカー/マイク端子の3V電圧出力条件を選択します。ビジー有りまたはグループ番号一致時に、スピーカー/マイク端子から約3Vの電圧を出力するかどうかを設定できます。

OFF : 常時3Vの電圧を出力
 キャリア : キャリアセンスレベルの信号で3Vの電圧を出力
 スケルチ : スケルチオープン信号で3Vの電圧を出力
 グループ : グループが一致する場合に、3Vの電圧を出力

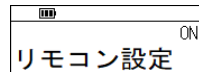
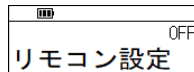


- 「単中継」「LAN SD」「LAN SP」モード時は設定に関わらず、常時3Vの電圧を出力します。
- オプションのマイクロホンまたはイヤホンが接続している場合は、OFFに設定してください。

リモコン設定

オプションのリモコン対応マイクロホンを使用するかどうかを設定します。

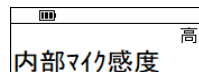
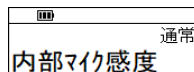
OFF : リモコンキーが無効
 ON : リモコンキーが有効



内部マイク感度

内部マイク感度の設定をします。相手がこちらの音声を聞き取りにくい時に設定します。

通常 : 通常マイク感度動作
 高 : 高マイク感度動作

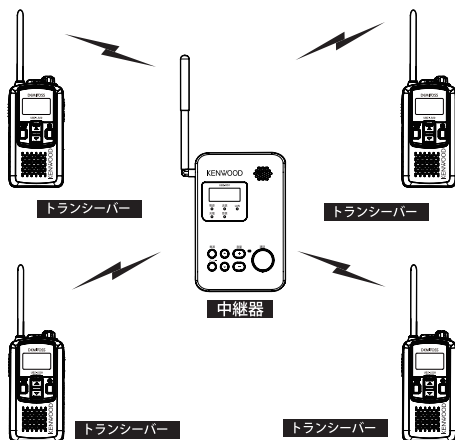


運用モードについて

本機で使用できる3つの中継モードと2つの基地局モードについて説明します。中継器モードでは店舗・レストラン・工場や倉庫、広いイベント会場などあらゆるシーンにおいてトランシーバー同士では通話できない距離でも通話が可能になります。基地局モードでは本機を使用して、トランシーバーと通話ができます。詳しい設置方法や設定などについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

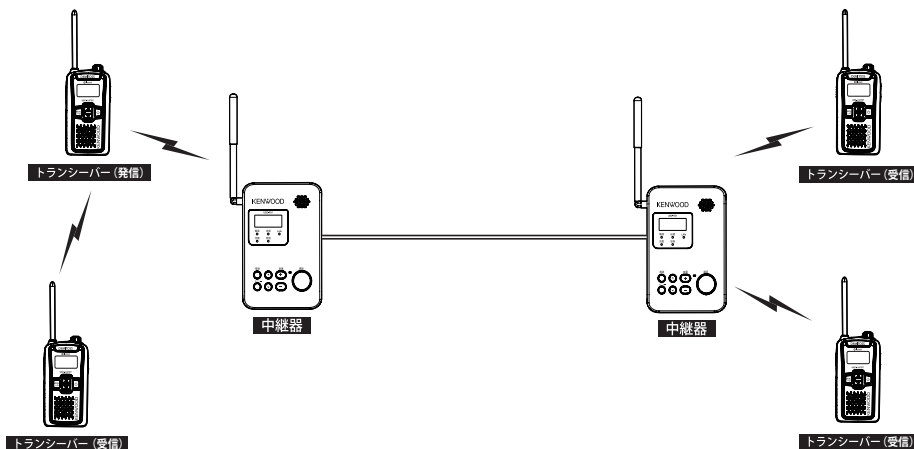
■ 単中継モード（セミデュプレックス）

通常使用するレピーターモードです。1台のレピーターを介してトランシーバー間で「話す」「聞く」を交互におこなって通話します。



■ LAN SP モード（シンプレックス）

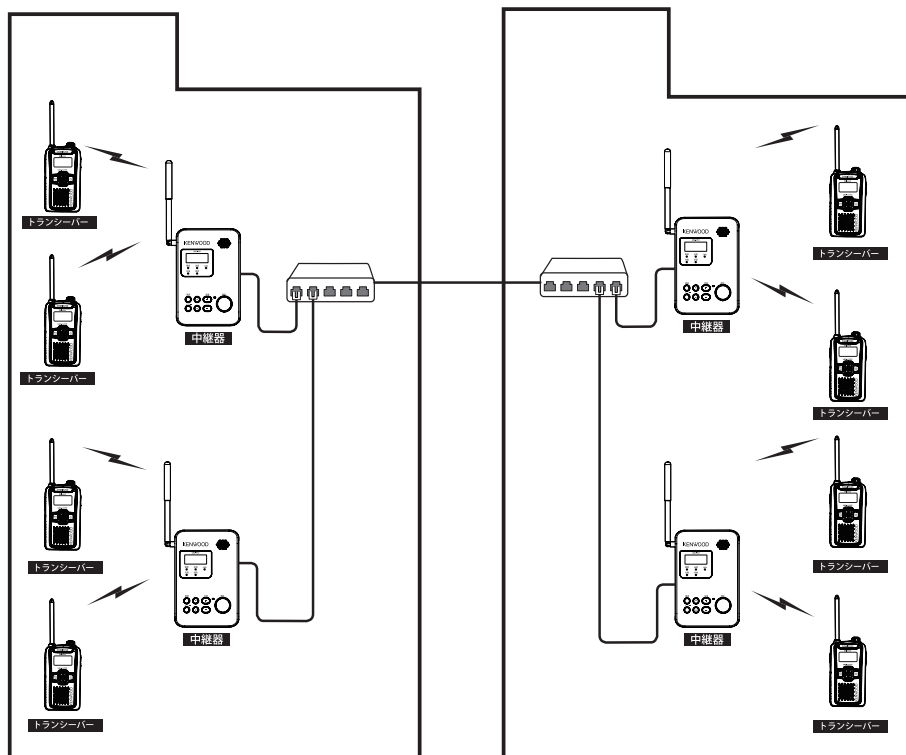
LAN ネットワークで接続したレピーターを介してトランシーバー間で「話す」「聞く」を交互におこなって通話します。シンプレックスでのトランシーバー間での通話が行いにくい場所にあるトランシーバーとは、中継器を介して通話を行うことができます。使用するトランシーバーをシンプレックスチャンネルの利用モードに設定します。



■ LAN SD モード（セミデュプレックス）

建物に遮られて電波の届かない A 倉庫内のトランシーバーと B 倉庫内のトランシーバーの間で通話したい場合などに設定するレピーターモードです。LAN ネットワークに接続した A 倉庫内のレピーターと B 倉庫内のレピーターを介して A 倉庫内のトランシーバーと B 倉庫内のトランシーバーの間で「話す」「聞く」を交互におこなって通話します。

使用するトランシーバーをセミデュプレックスチャンネルの利用モードに設定します。

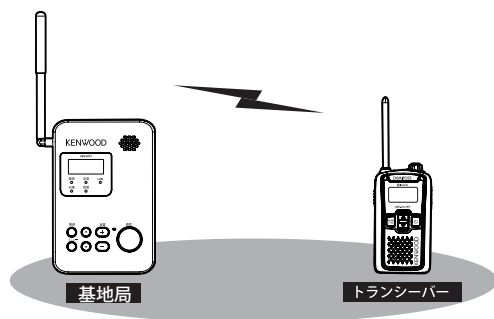


● 「LAN SP」または「LAN SD」モードで利用するときは

- 最大 6 台（本機 + 5 台）まで中継器を接続可能です。接続する中継機に設定した IP アドレスを本機に登録します。（→ 29 ページ）
 - 接続する本機の運用モードは同じ設定にしてください。（→ 16 ページ）
 - 接続する本機のチャンネル番号とグループ番号は、異なるチャンネル番号とグループ番号を設定してください。同じ設定の場合は通話できません。（→ 13 ページ）
- また、チャンネル番号は混信防止のため 1 チャンネル以上あけて設定してください。
 （例：レピーター A = チャンネル 1 / レピーター B = チャンネル 3）

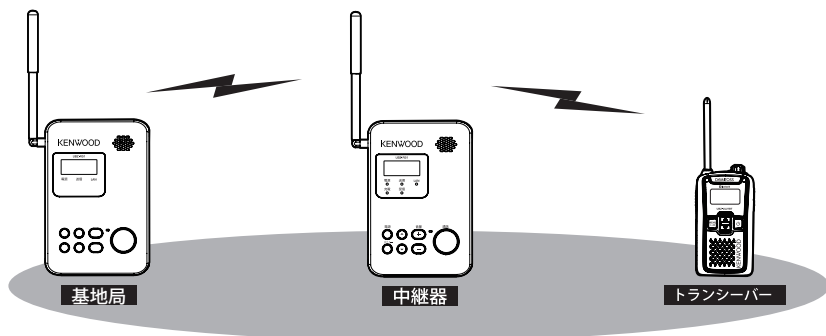
■ 基地 SP モード (シンプレックス)

本機とトランシーバーなどで直接通信するモードです。通信するトランシーバーもシンプレックスに設定する必要があります。



■ 基地 SD モード (セミデュプレックス)

中継器を介して本機とトランシーバーなどで通信するモードです。安定して通信できる範囲が広がります。通信するトランシーバーもセミデュプレックスに設定する必要があります。



操作のしかた

基地 SP モード（シンプレックス）での通信操作

基地 SP モード（シンプレックス）で通信する場合の基本通信手順です。

- ・セミデュプレックスのトランシーバーとは通信できません。
- ・グループ番号を使用する場合は、本機とトランシーバーのグループ番号を合わせておきます。

1 本機の電源を ON にする

起動音が鳴り本機の電源が入り、起動すると電源 LED が点灯します。

2 【▲】または【▼】を押して通信するチャンネル番号に切り替える

押すごとにチャンネル番号が切り替わります。

【▲】または【▼】を押し続けると、押ししている間連続してチャンネル番号が切り替わります。

3 【通話】を押しながら話す

送信 LED が赤点灯し、送信状態になります。

マイク部から 5cm ぐらい離してお話してください。

4 話し終わったら【通話】から指を離す

送信 LED が消灯します。

他トランシーバーから受信すると受信 LED が緑点灯し、相手が話すとき声が聞こえます。

相手の声が聞こえにくい、大きすぎる場合は【音量+】または【音量-】を押して調整してください。

5 手順 3 と 4 の操作を繰り返して、通信する

本機を基地局として使用しないときは電源を切ります。中継器として使用する場合は運用モード（→ 16 ページ）を変更します。



- 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
- トランシーバーや本機との間の距離が近い（10 m 以内）と、「18(h7) と 1」、「19(h8) と 2」、「20(h9) と 3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、12(h1) ~ 20(h9) または 1 ~ 11 チャンネル内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。「グループ番号の設定」（→ 13 ページ）をご覧ください。
- 本機の 1 回の通信時間は、送信・受信を合わせて 3 分間です。通信終了の 30 秒前になると、右上文字表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。「通話時間終了の予告機能」（→ 32 ページ）をご覧ください。

基地 SD モード（セミデュプレックス）での通信操作

最初に中継器に接続してから、相手を呼び出して通信します。

・本機とトランシーバーのチャンネル番号とグループ番号を中継器のチャンネル番号とグループ番号に合わせておきます。

1 本機の電源を ON にする

起動音が鳴り本機の電源が入り、起動すると電源 LED が点灯します。

2 【通話】を押す

中継器へのアクセスを確認します。

- ・アクセス成功音「ブルツ」が鳴ったら手順 3 へ移ってください。
※「通話告知音」（→ 18 ページ）を OFF にしている場合は、アクセス成功音は鳴りません。
- ・アクセスエラー音「ブップブップ…」が鳴ったら手順 2 の操作を繰り返します。

3 【通話】を押しながら話す

送信 LED が赤点灯し、送信状態になります。

マイク部から 5cm ぐらい離してお話してください。

途中、中継器とのアクセスが外れてアクセスエラー音が鳴ったら、再度手順 2 から操作してください。

4 話し終わったら【通話】から指を離す

送信 LED が消灯します。

他トランシーバーから受信すると受信 LED が緑点灯し、相手が話すと声が聞こえます。

相手の声が聞こえにくい、大きすぎる場合は【音量+】または【音量-】を押して調整してください。

5 手順 3 と 4 の操作を繰り返して、通信する

本機を基地局として使用しないときは電源を切ります。中継器として使用する場合は運用モード（→ 16 ページ）を変更します。

オートチャンネルセレクト

チャンネル番号を選択することなく、自動的に同じグループ番号のトランシーバーと通信する機能です。同じグループ番号で使用されているチャンネルを見つけると、そのチャンネルを受信します。また、オートチャンネルセレクト中に【通話】を押して送信すると、空いているチャンネルで送信します。

オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。

- ・「運用モード」を「基地 SP」モードに設定する。（→ 16 ページ）
- ・「ACS 設定（本体オートチャンネルセレクトキー設定）」を ON にする。（→ 18 ページ）
- ・「グループ番号」を 1～38 に設定する。（→ 13 ページ）
- ・オプションのリモコン対応マイクロホンを使用するときは「リモコン設定」を ON にする。（→ 19 ページ）

1 本機の【▲】または【▼】を 1 秒以上押す、またはオートチャンネルセレクト機能が設定されたリモコンの【2】キーを 1 秒以上押す

オートチャンネルセレクトを開始します。

【▲】、【▼】、【メニュー】を押すか、リモコンの【2】キーを 1 秒以上押すと、オートチャンネルセレクトが解除されます。

2 【通話】を押す

空いているチャンネルに移行した後、送信されます。相手はそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。




- ・空いているチャンネルで 10 秒以上相手からの応答がないと、オートチャンネルセレクトのスキンを再開します。
- ・相手のトランシーバーも、オートチャンネルセレクトを使用してください。

モニター

受信信号の状態をモニターできるように、強制的に雑音混じりの弱い信号でも受信できるようにします。また、受信音量を調整するときにも使用できます。

モニターする

- 1 本機の電源を OFF にする
- 2 【▼】を押しながら【電源】を押し、電源を入れる

「」表示が点灯します。

信号を受信していないときは「ザー」という雑音が出ます。音量レベルを調整するときの目安にもなります。



- 【▼】と【電源】を押してモニター機能を ON(常時モニター状態)にしている場合、以下の動作を行なうとモニター機能が OFF になります。
 - ・本機の電源を OFF にする。
 - ・オートチャンネルセレクト動作を開始する。
- モニター機能を使用するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、「ザー」というノイズを大きい音量で聞くと耳に障害を受けることがあります。

コールトーン呼び出し

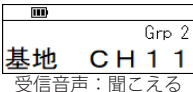
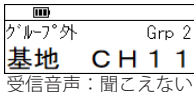
相手を電話の呼び出し音のような音（コールトーン）で呼び出すことができます。

- 1 【通話】を押したまま【▲】を押す

押している間コールトーンが送信されます。

グループ番号不一致通知

グループ番号を設定している時に、グループ番号が一致しない相手から受信があると、「グループ外」を表示します。受信音声は聞こえない状況で、グループ番号の不一致が原因であることを視覚的に分かりやすくするための機能です。

受信側の設定	グループ番号“2”を受信	グループ番号“10”を受信
グループ番号“2”に設定		



- モニター機能動作中は、グループ番号不一致通知は表示しません。

パソコンからの設定のしかた

本機をパソコンと接続して、Web Tool にログインする（初回設定）

本機とパソコンを LAN ケーブルで接続し、Web ブラウザーから本機の設定を行うことができます。推奨する Web ブラウザーは、以下の通りです。

Web ブラウザー	バージョン
Google Chrome	138 以降
Microsoft Edge	138 以降



- Google Chrome は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

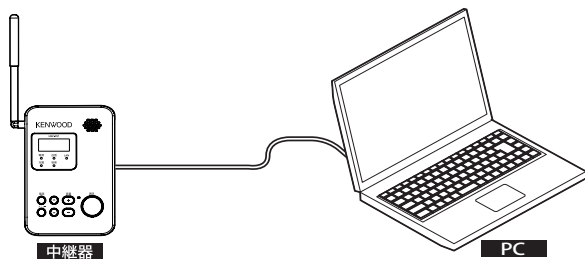
以下の手順で Web Tool へアクセスできます。

1 パソコンの IP アドレスを、本機の IP アドレスと同一のセグメントに設定する

例) 192.168.0.200

本機の IP アドレスの初期値は「192.168.0.1」です。

2 本機とパソコンを LAN ケーブルで接続する



3 Web ブラウザーを開き、URL に本機の IP アドレスを入力する

本機の IP アドレスが「192.168.0.1」に設定されている場合は、「http://192.168.0.1」と入力します。

4 ログイン画面が表示されるので、パスワード欄を空欄のまま「ログイン」をクリックする

初回設定時は、パスワードの設定画面が表示されるので、画面の指示に従って設定してください。

次回ログイン以降は設定したパスワードを入力してログインします。

KENWOOD

特定小電力中継器 設定WEBツール

パスワード:

5 Web Tool 画面が表示される

Web Tool にログインする (2 回目以降)

- 1 Web ブラウザを開き、URL に本機の IP アドレスを入力する
- 2 パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックする
正しいパスワードを入力すると、Web Tool 画面が表示されます。



- パスワードを忘れた場合は、本機のオールリセット (→ 32 ページ) を行うとパスワードもリセットされます。
- 本機の IP アドレスは「ネットワーク設定」(→ 29 ページ) で変更できます。

Web Tool 画面の見かた

The screenshot shows the Kenwood Web Tool interface. It features a left sidebar (1) with '接続中の機器' (Connected Device) showing serial number and MAC address, and buttons for 'ヘルプ' (Help) and 'ログアウト' (Logout). The main area (3) is titled '一般設定' (General Settings) and contains various configuration options for channels and communication modes. The top header (2) and bottom footer (4) both contain buttons for 'ファイルに保存する' (Save to File), '機体へ書き込む' (Write to Device), and '機体から読み込む' (Load from Device).

番号	項目	役割
①	サイドビュー	本機のシリアル No. と MAC アドレスを表示します。 下部のボタンからヘルプの表示、ログアウトができます。
②	ヘッダー部	ボタンから本機の設定の読み込みや設定値を保存したファイルの読み込みができます。
③	メイン画面	各種設定などを行える画面です。
④	フッター部	ボタンから設定値のファイルへの保存や本機への設定値の書き込み、再起動ができます。

Web Tool から設定する

1 Web Tool のメイン画面で各設定値を選択または入力する

「一般設定」、「ネットワーク設定」の各項目を選択または入力します。

2 「機器に書き込む」ボタンをクリックする

設定値が本機に書き込まれます。

「ファイルに保存する」をクリックすると、本機に設定が反映されずに、設定値をファイルに保存します。

保存したファイルを読み込むことができます (→ 30 ページ)。

3 「機器を再起動」ボタンをクリックし、「再起動」ボタンをクリックする

本機が再起動し、書き込んだ設定値が反映されます。

・再起動後に設定を確認する場合は、画面に従って Web Tool に再度ログインしてください。

一般設定

チャンネル設定や中継器の設定など本機の基本的な設定を行えます。

設定項目		内容	初期値
チャンネル設定		運用モードごとに起動時のチャンネル番号とグループ番号、ボイススクランブル (秘話) を設定します。	チャンネル番号: CH1 グループ番号: 1 / OFF ボイススクランブル: OFF
共通設定	運用モード	単中継 / LAN SD / LAN SP / 基地 SP / 基地 SD から運用モードを選択します。	単中継
	ピーブ音設定	操作時のピーブ音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	ON
	スケルチレベル	スケルチ (雑音などを消去する機能) が解除される (音声が出力される) レベルを設定します。	1
	バッテリーセーブ	バッテリーセーブ機能の ON/OFF を設定します。	OFF
	送信出力設定	1ch ~ 18ch バンドで送信をローパワーの約 1mW に設定して、中継の時間制限を解除します。	ハイ
	チャンネル番号切替	チャンネルの表示方法を設定します。	OFF
	レピーターアクセス	通信開始時の動作を設定します。	ノーマル
中継器設定	ホールドタイム	アクセスするトランシーバーの信号が無くなっても送信を維持する時間を設定します。	OFF
	バッテリー動作音	バッテリーワーニングトーンやバッテリーオペレーショントーンの送出 ON/OFF を設定します。	ON

設定項目		内容	初期値
基地局設定	本体オートチャンネルセレクトキー	【▲】または【▼】長押しでオートチャンネルセレクトを有効にするか無効にするかを設定します。	OFF
	通話告知音	通話開始時、終了時にピープ音を出力し、発話開始のタイミングと通話終了の通知を知らせるかどうかを設定します。	SD
	通話告知音動作	通話告知音を設定時に、ピープ音をどのタイミングで鳴らすかを設定します。 ※「通話告知音」が「OFF」の場合には、「通話告知動作」を設定していてもピープ音は鳴りません。	開始時
	オプション出力	ビジー有りまたはグループ番号一致時に、スピーカーマイク端子から約 3V の電圧を出力するかどうかを設定します。	OFF
	リモコン設定	オプションのリモコン対応マイクロホン接続時にリモコンキーを有効にするか無効にするかを設定します。	OFF
	内部マイク感度	マイクの感度を設定します。	通常

ネットワーク設定

中継器の IP アドレスと名称の設定や自局設定をします。

設定項目		内容	初期値
接続先情報	中継器 1～中継器 6	各中継器の IP アドレスと名称を登録します。	空白
自局設定	IP アドレス / 名称	中継器 1～中継器 6 で設定した中から現在接続中の中継器を選択します。 ※名称は選択した中継器に設定されている内容が表示されます。	中継器 1
	サブネットマスク	サブネットマスクの設定をします。	未設定
	パスワード	Web Tool のパスワードを設定します。	初回ログイン時に設定したパスワード





設定ファイルを読み込んで本機に反映する

ファイルに保存した設定値を読み込みます。

- 1 Web Tool 画面のヘッダーにある「ファイルを読み込む」ボタンをクリックする
- 2 「ファイルを選択」ボタンをクリックする
- 3 読み込むファイルを選択する
- 4 「読み込む」ボタンをクリックする
ファイルに保存した設定値が Web Tool に反映されます。
- 5 Web Tool のフッターにある「機器に書き込む」ボタンをクリックする
設定値が本機に書き込まれます。
- 6 「機器を再起動」ボタンをクリックし、「再起動」ボタンをクリックする
本機が再起動し、書き込んだ設定値が反映されます。
・再起動後に設定を確認する場合は、画面に従って Web Tool に再度ログインしてください。

ログインパスワードを変更する

Web Tool へのログインパスワードを変更します。

- 1 Web Tool 画面の自局設定のパスワード欄の右にある「」をクリックする
「」表示になり、パスワード欄に入力できるようになります。
- 2 変更後のパスワードを入力する
- 3 「」をクリックする
「」表示になり、パスワード欄がロックされます。
- 4 「機器に書き込む」ボタンをクリックする
設定値が本機に書き込まれます。
- 5 「機器を再起動」ボタンをクリックし、「再起動」をクリックする
本機が再起動し、書き込んだ設定値が反映されます。
・再起動後に設定を確認する場合は、画面に従って Web Tool に再度ログインしてください。

Web Tool のヘルプを見る

1 Web Tool 画面のサイドビューにある「ヘルプ」をクリックする

設定項目ごとの操作ヘルプを表示して確認できます。



Web Tool からログアウトする

1 Web Tool 画面のサイドビューにある「ログアウト」をクリックする

その他の機能

通話時間終了の予告機能

本機の1回の通信時間は、送信／受信を合わせて3分間です。通話終了の30秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「ピッ」と予告音が鳴り、3分を経過すると送信禁止音とともに送信を停止し、受信待ち受け状態に戻ります。

警告音について

下表の通り、本機の運用状態によって各種の警告音が中継中の音声に付加されます。

名称	詳細	警告音
バッテリーワーニングトーン	外部 DC 電源からバックアップ電源に切り替わったとき	ピー (5 秒間)
バッテリーオペレーショントーン	バックアップ電源 (バッテリー) による運用中	ピー ピー (5 秒間隔)
バッテリー減電圧警告音	バッテリー残量が1個になったとき	ピッ ピッ (5 秒間隔)
バッテリー交換警告音	バッテリーが挿入されてから2年が経過したとき	ピー ピッ ピッ (5 秒間隔)
バッテリー充電停止音	バッテリー交換警告音が鳴り始めてから2週間が経過したとき	ピーー ピーー ピーー (5 秒間隔)



- バッテリーワーニングトーンとバッテリーオペレーショントーンは、メニューの設定により警告音を出さないようにすることができます。(→18ページ)
- バッテリーワーニングトーン送出中は、中継動作は起こりません。

初期設定の状態に戻す (オールリセット)

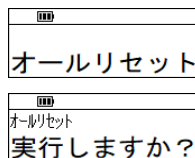
設定されている内容がすべて消去され、初期設定の状態に戻ります。

1 電源を OFF にする

2 【▲】と【▼】を同時に押しながら電源を ON にする

「オールリセット」が表示された後、「オールリセット 実行しますか?」と表示されます。

リセットを止めたいときは、【通話】以外のキーを押すと、チャンネル表示画面が表示されます。



3 【通話】を押す

リセットされます。初期設定の状態に戻ります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

機種名	商品名
UCM-100	コントロールマイクロホン< VOX 対応> 「生産完了商品」 ※ UCM-100 は単体では使用できません。UCM-100 対応イヤホン (UHS-1、UHS-2、UHS-3) と組み合わせてご使用ください。
EMC-3A	イヤホン付きクリップマイクロホン
EMC-5F	イヤホン付きクリップマイクロホン (マイク感度切り替え付き) < VOX 対応>
EMC-11	イヤホン付きクリップマイクロホン
EMC-12	イヤホン付きクリップマイクロホン (耳掛けタイプ) < VOX 対応>
KHS-35F	ヘッドセット (耳掛けタイプ) < VOX 対応>
UHS-1	イヤーフックタイプイヤホン (UCM-100 用)
UHS-2	アコースティックチューブイヤホン (UCM-100 用)
UHS-3	カナルタイプイヤホン (UCM-100 用)
HS-9(G)	ブチホン型イヤホン
KEP-6	イヤホン
SMC-34(G)	リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン
UPB-8L	リチウムイオンバッテリーパック



- オプションが< VOX 対応>の場合でも、本機では VOX 動作や PTT ホールド機能は使用できません。



- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了したりすることがあります。オプション製品についてはカタログなどを参照してください。
- 本機のオプションについては、弊社ホームページからご覧いただけます。
<https://www.kenwood.com/jp/pro/com/license-free/option/>

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、初期状態に戻してください。(オールリセット→32ページ)

症状	原因	処置
電源が入らない(電源LEDが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターが接続されていない バッテリーパックが入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターを接続する(→12ページ) バッテリーパックを取り付ける(→6ページ)
受信できない(受信LEDが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> 特定小電力トランシーバーの運用モードが違う チャンネル番号とグループ番号が特定小電力トランシーバーと違う 特定小電力トランシーバーと本機の距離が離れすぎている 	<ul style="list-style-type: none"> 本機の運用モードにあわせて特定小電力トランシーバーをトランシーバーモードまたはレピーター運用モードに設定する チャンネル番号とグループ番号を特定小電力トランシーバーと同じ設定にする(→13ページ) 受信LEDの点灯する距離で特定小電力トランシーバーを使用する
送信できない(送信LEDが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル番号とグループ番号が特定小電力トランシーバーと違う 受信LEDが点灯している 	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル番号とグループ番号を特定小電力トランシーバーと同じ設定にする(→13ページ) チャンネルを変更するか受信LEDが消えるのを待つ
音が出ない(音声聞き取れない)	<ul style="list-style-type: none"> 音量ボリュームが小さくなっている 送信側/受信側いずれか一方のボイススクランブルがONになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 【音量+】を押して音量を大きくする 送信側/受信側ともにボイススクランブル機能をONまたはOFFの同じ設定にする(→14ページ)
相手と通話ができない	<ul style="list-style-type: none"> 相手の特定小電力トランシーバーが本機の運用モードにあった運用モードに設定されていない 相手のチャンネル番号とグループ番号がレピーターと違う 特定小電力トランシーバーとレピーターの距離が離れすぎている 「LAN SP」または「LAN SD」モードで複数台接続している場合、中継器の運用モードが合っていない 「LAN SP」または「LAN SD」モードの場合、接続している中継器のチャンネル設定が同じになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 本機の運用モードにあわせて特定小電力トランシーバーをトランシーバーモードまたはレピーター運用モードに設定する 相手のチャンネル番号とグループ番号をレピーターと同じ設定にする(→13ページ) 受信LEDの点灯する距離で特定小電力トランシーバーを使用する 接続している中継器の運用モードを「LAN SP」または「LAN SD」モードに設定する(→16ページ) 接続している中継器が「LAN SP」または「LAN SD」モードの場合、接続している中継器のチャンネルは別々のものを設定する(→13ページ)
チャンネルが切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> キーロックになっている 	<ul style="list-style-type: none"> キーロックを解除する(→14ページ)
オートチャンネルセレクトが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> グループ番号が設定されていない 運用モードが「基地 SP」モードに設定されていない 	<ul style="list-style-type: none"> グループ番号を設定する(→13ページ) 運用モードを「基地 SP」モードに設定する(→16ページ)

症状	原因	処置
中継器にアクセスできない	<p>アクセスエラー音が鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用モードが「基地 SP」モードになっている <p>アクセスエラー音が鳴る</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンネル番号、グループ番号が中継器の番号と違う 	<ul style="list-style-type: none"> 運用モードを「基地 SD」モードに設定する (→ 16 ページ) チャンネル番号、グループ番号を中継器の番号と合わせる (→ 13 ページ)
バッテリーでの運用時に <ul style="list-style-type: none"> 受信 LED が点滅する 電源が入らない 表示がすぐ消える 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーが消耗している 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいバッテリーに交換する (→ 6 ページ)
充電 LED が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 充電電圧の異常 充電電流の異常 雰囲気温度異常 	<ul style="list-style-type: none"> 充電使用温度範囲にする (→ 36 ページ) バッテリーをいったん抜いて再度挿入する。それでも直らない場合は新しいバッテリーに交換する (→ 6 ページ)
会話と会話の途中で通話が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ホールドタイムが短い 	<ul style="list-style-type: none"> ホールドタイムを適切な時間に設定する (→ 18 ページ)

仕様

送受信周波数	<p>セミデュプレックス (単中継 / LAN SD モード)</p> <p>受信: 440.0250 MHz ~ 440.3625 MHz 送信: 421.5750 MHz ~ 421.9125 MHz 1チャンネル~27チャンネル(12.5 kHz ステップ) チャンネル番号切替 ON 時: 1 ~ 18 チャンネル+ h1 ~ h9 チャンネル</p> <p>シンプレックス (基地 SP / LAN SP モード)</p> <p>送受信: 422.0500 MHz ~ 422.3000 MHz 1チャンネル~20チャンネル(12.5 kHz ステップ) チャンネル番号切替 ON 時: 1 ~ 11 チャンネル+ h1 ~ h9 チャンネル</p> <p>セミデュプレックス (基地 SD モード)</p> <p>受信: 421.5750 MHz ~ 421.9125 MHz 送信: 440.0250 MHz ~ 440.3625 MHz 1チャンネル~27チャンネル(12.5 kHz ステップ) チャンネル番号切替 ON 時: 1 ~ 18 チャンネル+ h1 ~ h9 チャンネル</p>
送信出力	約 10 mW (ローパワー送信時 約 1 mW)
電波型式	F3E
周波数安定度	± 4 ppm (使用温度範囲内における値)
消費電流	<p>待ち受け時電流: 230mA 以下 (単中継 / LAN 接続無し / 充電無し)</p> <p>送信時電流 380mA 以下 (単中継 / LAN 接続無し / 充電無し)</p>
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 50 °C
電源電圧	DC 5.5 V ± 5%
寸法 (突起物含まず)	幅 100 mm × 高さ 150 mm × 奥行 35 mm
質量 (重さ)	300 g (バッテリーパックを含まず)


充電仕様 (別売りリチウムイオンバッテリー UPB-8L 使用時)

使用温度範囲	0 °C ~ + 40 °C
充電方式	定電流定電圧方式
充電電圧	4.2 V / 4.1 V / 4.05 V
充電時間	15 時間以下

※仕様は予告なく変更することがあります。



JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル  **0120-2727-87**

携帯電話からは、ナビダイヤル  **0570-010-114**

一部のIP電話など、フリーダイヤル、
ナビダイヤルがご利用になれない場合は **045-450-8950**

FAXを送信される場合は **045-450-2308**

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
受付時間 月～金曜日 9：30～18：00
土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

●修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

●ユーザー登録 (My-Kenwood) をご利用ください。

お買い上げいただいたケンウッド商品をご愛用いただくために、弊社ウェブサイト内でユーザー登録することをおすすめします。

<https://jp.my-kenwood.com>

© 2025 JVCKENWOOD Corporation